

世界の食虫植物展

2021年7月17日(土)～8月15日(日)

アリ植物講演会

日時:7月24日(土)13時30分～
講師:伊藤蟻植物農園
(STRINGE PLANTS)代表
伊藤 彰洋氏

広島
初展示!!

アリと生きる植物展

2021年7月17日(土)～8月1日(日)

落ちちゃう～

食べられちゃうよ～

こりゃいいね!

住みやす～い

ごらくだね!

食虫植物実演会

日時:8月8日(日)13時30分～
講師:広島食虫植物同好会
安西 秀礼氏

■主催 公益財団法人広島市みどり生きもの協会
■協力 広島食虫植物同好会
伊藤蟻植物農園 (STRINGE PLANTS)

■開園時間 午前9時～午後4時半(入園は4時まで) 金曜日は休園(7/23、8/6は開園)
■入園料 大人510円、18歳未満170円、中学生以下無料
65歳以上170円(公的証明書の提示が必要)
■駐車料 軽・普通車450円、中・大型車1,400円



広島市植物公園

広島市佐伯区倉重三丁目495番地
TEL (082) 922-3600
FAX (082) 923-6100
<http://www.hiroshima-bot.jp/>

公式twitter



アリ植物とは？

体内に空洞を作り、そこにアリを住ませることで、アリと共生関係を築いている植物をまとめて「アリ植物」といいます。植物はアリに住み家を提供する代わりに、アリは住み家を守るために植物を守ります。植物を守るといっても、植物の天敵となる動物を蹴散らすだけでなく、周囲の植物を枯らしてしまう種類のアリもあります。また、アリとの共生関係を築く過程で進化した、アリ植物が持つ独特のフォルムも魅力のひとつです。珍奇な見た目ばかりに目がいきがちですが、写真のように花に魅入られてしまう種類もあります。まだまだ未知のことが多い、アリ植物の不思議な世界をぜひ見に来てください。

ミルメフィツム アルファキアヌム
Myrmephytum arfakianum の花



食虫植物とは？

食虫植物は、「虫（動物）」を捕らえて食べる植物の総称です。彼らは、樹幹や岩上、湿地など貧栄養な環境に生え、虫を捕らえて栄養を補っています。

捕虫の方法は、科ごとに独立して進化したといわれています。例えば、袋や筒状の葉を落とし穴のように使うもの、葉から粘液を出しトリモチにするものなど様々です。中でもハエトリグサは、二枚貝のような葉を素早く動かし、中に入った虫を捕らえます。捕虫のために進化したその姿は「珍奇」そのものです。

一般的な食物連鎖と逆行した、常識外れな「肉食の植物」たちをぜひ見に来てください。

ナメクジを捕らえたハエトリグサ



学ぶ！

アリ植物講演会 その魅力と楽しみ方

自生地での写真などを交えながら、

アリ植物の魅力や

おもしろさについて、深く迫ります！



伊藤蟻植物農園
(STRINGE PLANTS) 代表
伊藤 彰洋 氏

【日時】 7月24日(土) 13時30分～

【場所】 展示資料館2階 講堂

【定員】 100名(先着)

食虫植物実演会

食虫植物の栽培について、

実演を交えて

解説を行います。



広島食虫植物同好会
安西 秀礼 氏

【日時】 8月8日(日) 13時30分～

【場所】 展示資料館2階 講堂

【定員】 100名(先着)

楽しむ！
育てる！

食虫植物・アリ植物の販売

食虫植物：8月8日(日)限定！
アリ植物：7月17日(土)、23日(金・祝)、
24日(土)、8月1日(日)

販売日には栽培の相談等もできます！ 【場所】 展示温室前 通路



ほかにも楽しいことがいっぱい！

オオオニバス試乗体験会

【対象】 体重30kgまでの子ども

【日時】 8月11日(水)、14日(土)、15日(日)、17日(火)



過去の体験会の様子

申込制：各日抽選で200人

往復はがきに「オオオニバス試乗体験会」、希望日を第2希望まで、住所・氏名・電話番号を記入し、7月20日までに当園(〒731-5156 広島市佐伯区倉重3-495)へ

●ホームページからご応募いただけます

夏の風物詩、ヒマワリの丘

1,600株

